

アセットマネジメント部門

応募事例名

大阪府市下水道ビジョンの策定 ～全国初 都道府県と政令市が連携した新たな市町村支援～

(応募団体名)大阪府、大阪市

応募事例の概要

「大阪府及び大阪市の下水道事業の発展」と「府内市町村下水道事業の持続性確保に向けた貢献」を目標に、市町村との強固なネットワークを構築している大阪府と、公共下水道の多くのノウハウを有する大阪市が連携し、今後30年の事業の方向性を定めた「大阪府市下水道ビジョン」を策定しました。



大阪府

(強み)

- ・流域下水道のトップランナー
- ・府内市町村と強固なネットワーク

強力に連携



大阪市

(強み)

- ・公共下水道の多くのノウハウ
- ・上下分離で事業運営を効率化

ビジョンを策定し、府市連携した取組を実施

府域全体の下水道事業の発展をめざす

【目標1】

大阪府市下水道の更なる発展

【目標2】

府内市町村下水道の持続性確保

ビジョン策定後の取組

ビジョンに位置付けた事業の方向性に基づき、具体的な成果をめざしてPDCAを実施(テーマ別に12のWGを設置)。



- ビジョン① 将来にわたり安定的に機能する下水道**
 - ・府市の官民連携の取組
 - ・市町村公共下水道持続性確保 等
- ビジョン② 安心して暮らせるまちを支える下水道**
 - ・気候変動を見据えた流域治水の推進
 - ・優先順位をつけた地域対策 等
- ビジョン③ ストックを活用し社会へ貢献する下水道**
 - ・処理場再構築に合わせた下水道用地のまちづくりへの活用
 - ・新技術開発のためのフィールド提供、技術の発信 等



ビジョンに位置付けた3つの方向性 WGの様子(WEB会議フル活用) 取組推進を管理する府市合同組織「推進会議」

PRポイント

- ・全国で初めて都道府県と政令市が共同策定した下水道に関するビジョン。
- ・大阪府と大阪市双方の連携のもと、効率的な事業運営及び市町村支援を実現。
- ・副知事、副市長をトップとした検討体制のもと、1年足らずで策定。
- ・ビジョン策定後もテーマ別に12のWGで検討実施(WEB会議を積極活用しDXを推進)。
- ・非常時の汚泥処理相互補完や研修共催等、府市連携による具体的な効果を早速実現。



(写真左)

(写真右)

大阪市建設局下水道部
調整課 担当係長
上村 恵三

大阪府都市整備部
下水道室事業課 総括主査
石川 剛士

取組に関するエピソード

ビジョンは50年先を見据えた今後30年の事業の方向性を定めるものであり、将来を担う中堅・若手職員が中心となって検討を行いました。検討の過程では、市町村はもちろんのこと、国(国交省、総務省)、府民(パブコメ、下水道展)、学識経験者等、多くの方々から意見をいただきました。また、府市担当者の打合せでは、互いの組織の垣根を越えて、未来の大阪の下水道のために一生懸命議論しました。